

「公印省略」

28 農 林 試 第 4565 号
平 成 29 年 1 月 6 日

各関係機関団体の長

殿

各 病 害 虫 防 除 員

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

平成 28 年度病虫害発生予察特殊報第 3 号について

このことについて、本県のヒムロスギでクロトンアザミウマの発生を確認しましたので、病虫害発生予察特殊報第 3 号を発表し、送付します。

特殊報第 3 号

- 1 病虫害名 クロトンアザミウマ
- 2 学 名 *Heliothrips haemorrhoidalis* (Bouché)
- 3 対象作物 ヒムロスギ (ヒノキ科ヒノキ属「サワラ」の園芸種)
- 4 発生の経過と概要

本年 11 月下旬、県中部で栽培されているヒムロスギにおいて葉が褐変する障害が発生した。数年前よりほ場内で点々と発生していたが、本年 5 月頃より下葉から褐変しはじめ 9 月以降病状が進んだ。

褐変した葉にはアザミウマが多数寄生し、同定した結果クロトンアザミウマと判明した。葉の褐変は、同種の吸汁による被害であった。

- 5 特徴と生態及び被害

成虫(雌)の体長は、1.5~1.8mm で体色は暗~黒褐色。全体に扁平幅広で、頭部は大きな網目状刻紋に覆われ、刺毛は全て小さく目立たない。複眼は、前方に突出する。触角は 8 節で各節は細長く、第 1、2 節全体と 6 節の先端 3/4 は褐色。

一般的には、温室内生息種とされ寒地では野外で越冬できないと考えられるが、関東以西では、野外にも生息し卵態越冬する。

本種は、葉裏でコロニーをつくり成虫、幼虫の吸汁被害により白化等がみられるようになり、被害が進むと葉の萎凋枯死や落葉を生じる。野外の被害として、マメツゲでの大きな被害報告があり(1984 年)、条件によっては、潜在的に大発生の要素があるとされ

ている。

また、本種はツツジ科、イネ科、バラ科、ブドウ科、ミカン科など多数の植物に寄生することが知られている。

6 防除対策

1) 施設栽培では、開口部に細かい防虫ネットを張り留め具を用いて、隙間のないようにしっかり固定し侵入防止をする。

2) 発生初期に直ちに薬剤防除する。(樹木類のアザミウマ類で登録のあるアセフェート水和剤)

(登録農薬は、独立行政法人農林水産消費安全技術センター (FAMIC) の農薬登録情報提供システム <http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vt11m001.html> 等を参照)。



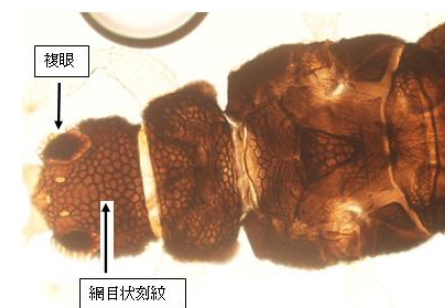
葉の被害 1



葉の被害 2



クロトンアザミウマの成虫
(雌の体長 1.5~1.8mm)



複眼(前方に突出)
頭部(網目状刻紋)



クロトンアザミウマの幼虫



触覚 8 節(第 1.2 節全体と 6 節の先端 3/4 は褐色)